

2015年3月期上期 決算説明会資料

2014年11月4日



 目次

1. 2015年3月期上期 連結決算概要	P.2
2. 通期業績予想について	P.7
3. 投融資案件の進捗状況について	P.13
4. 当社の資源案件について	P. 21
5. 投融資管理体制について	P. 25
6. 補足資料	P. 27

1. 2015年3月期上期 連結決算概要



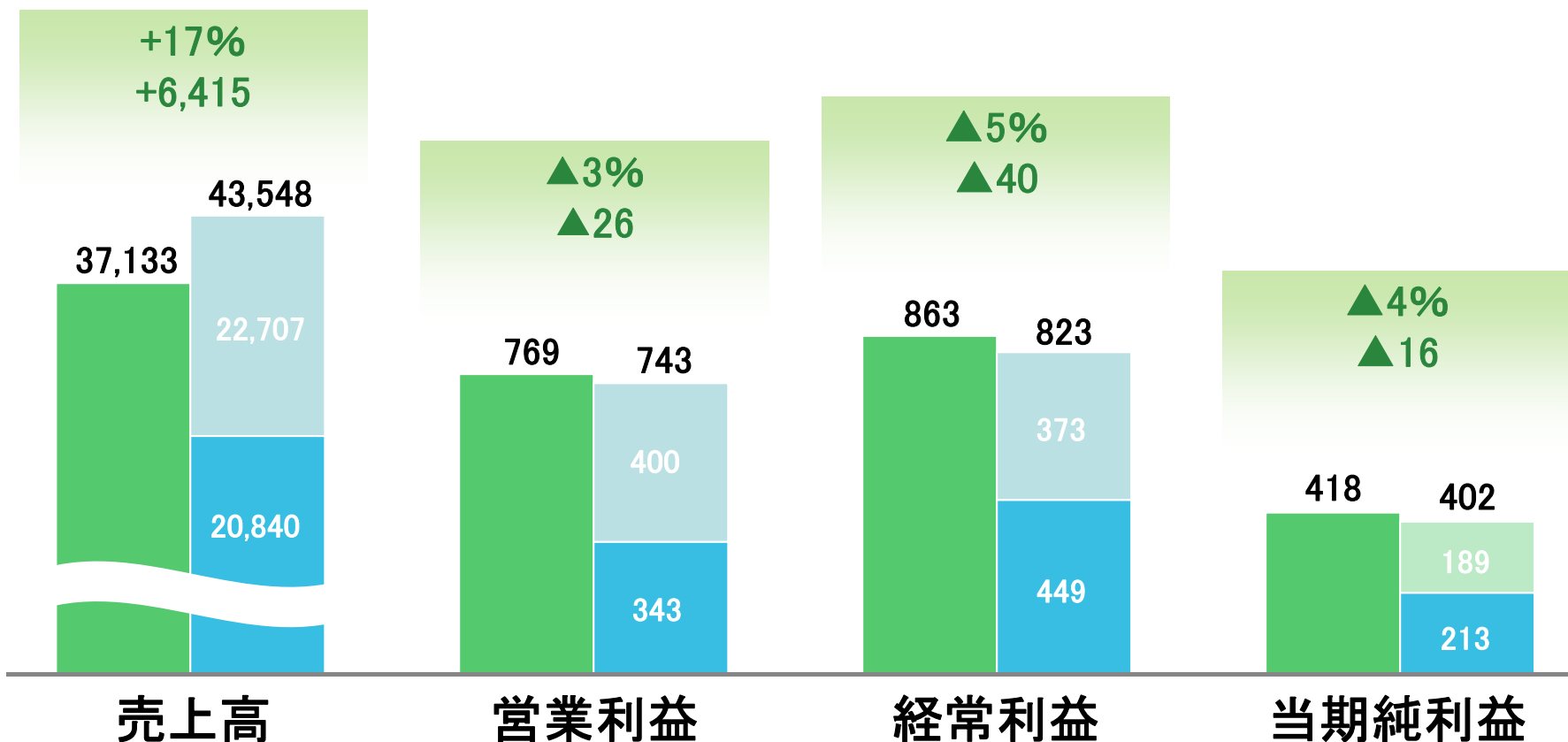
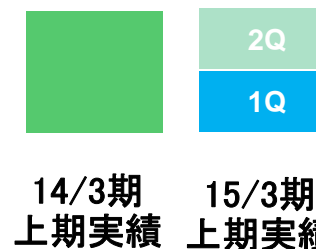
2015年3月期上期(4~9月)連結決算概要

(単位:億円)

◆前期比 増収減益

⇒ 売上高：石油製品等の取扱い増加及び一部の連結子会社の決算期を統一したことによる影響等により機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部を中心に増加

当期純利益：特別損益が良化したものの、経常利益が減少したことにより減益



営業利益のプラス・マイナス要因まとめ

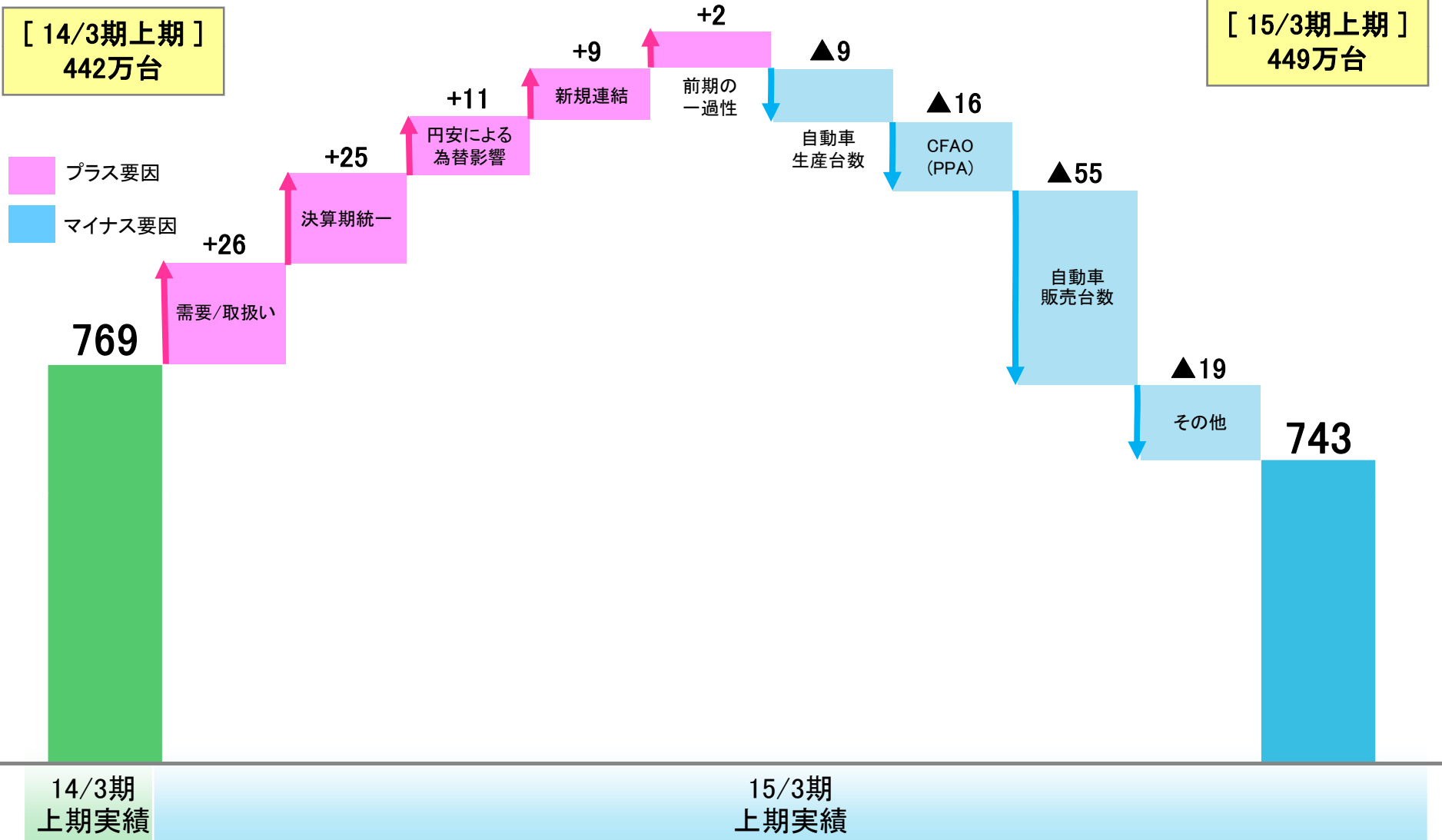
(単位: 億円)

トヨタ自動車生産台数

トヨタ自動車生産台数

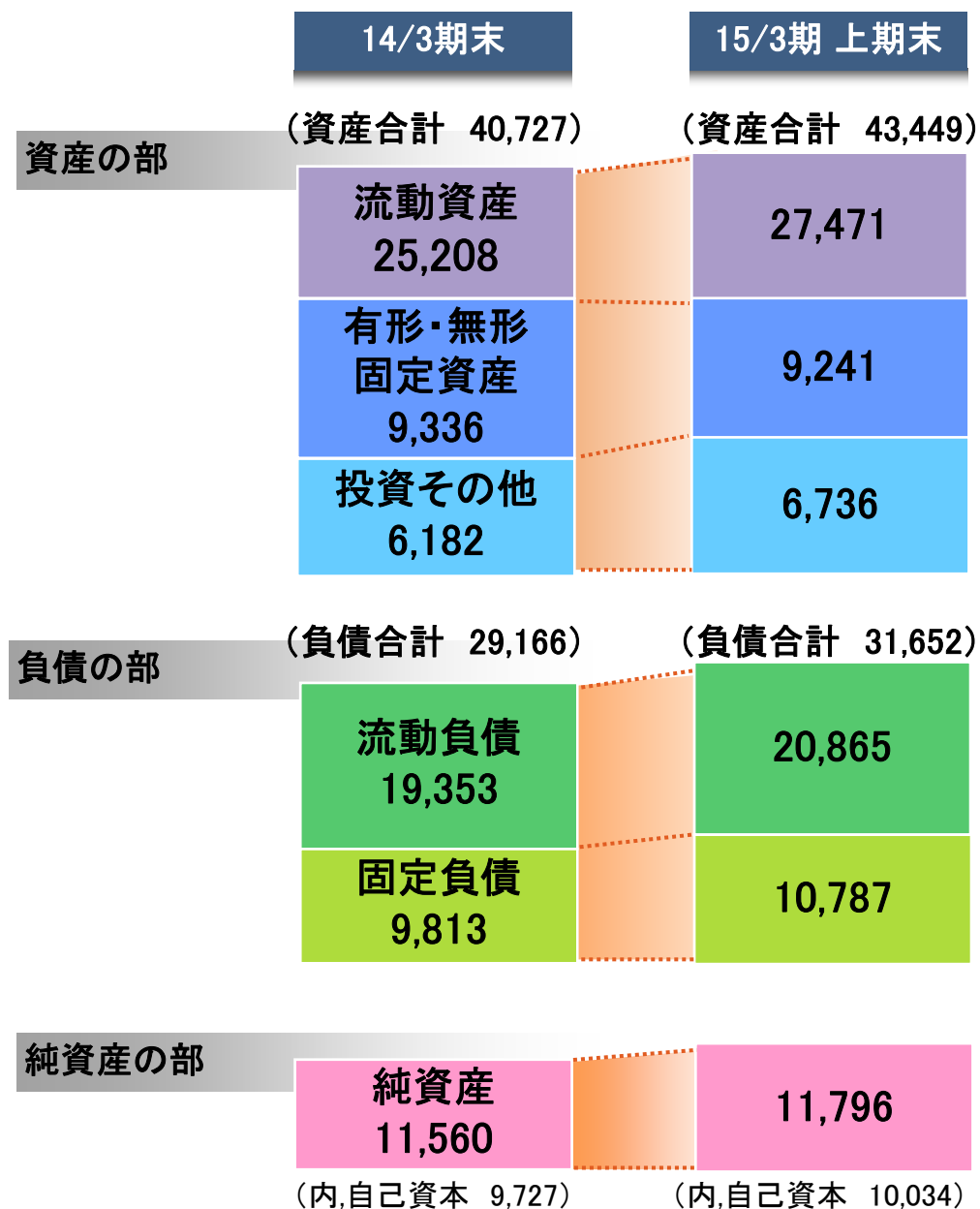
[14/3期上期]
442万台

[15/3期上期]
449万台



バランスシートの状況

(単位:億円)



総資産増加 +2,722

売上債権の増加 +1,564
 たな卸資産 +432
 投資有価証券・出資金 +328

負債増加 +2,486

有利子負債 +1,610
 支払手形・買掛金 +861

純資産増加 +236

自己資本増加 +307
 ・利益剰余金 +289
 ・有価証券評価差額金 +148
 その他減少 ▲72
 ・少数株主持分 ▲69



投資計画の進捗状況

(単位:億円)

		15/3期 上期 投資実績			
		主な内訳		金額	
投資計画 (2年)	自動車	実行済	自動車生産関連設備の拡充 既存ディーラー設備投資	投資実績	
				第1四半期	169
				第2四半期	150
				合計	319
		未実行承認済	金属加工拠点新規設立 ディーラー拠点拡張	合計 192	
	自動車 以外	実行済	日本国内での太陽光・風力発電事業(ユーラス) 豪州・カナダでのガス開発案件	投資実績	
第1四半期				329	
			第2四半期	324	
			合計	653	
	未実行承認済	トーマンエレクトロニクス 米国ガス焚き発電	合計 1,222		
2,500	合計		実行済	971	
			未実行	1,414	
			合計	2,385	

2. 通期業績予想について

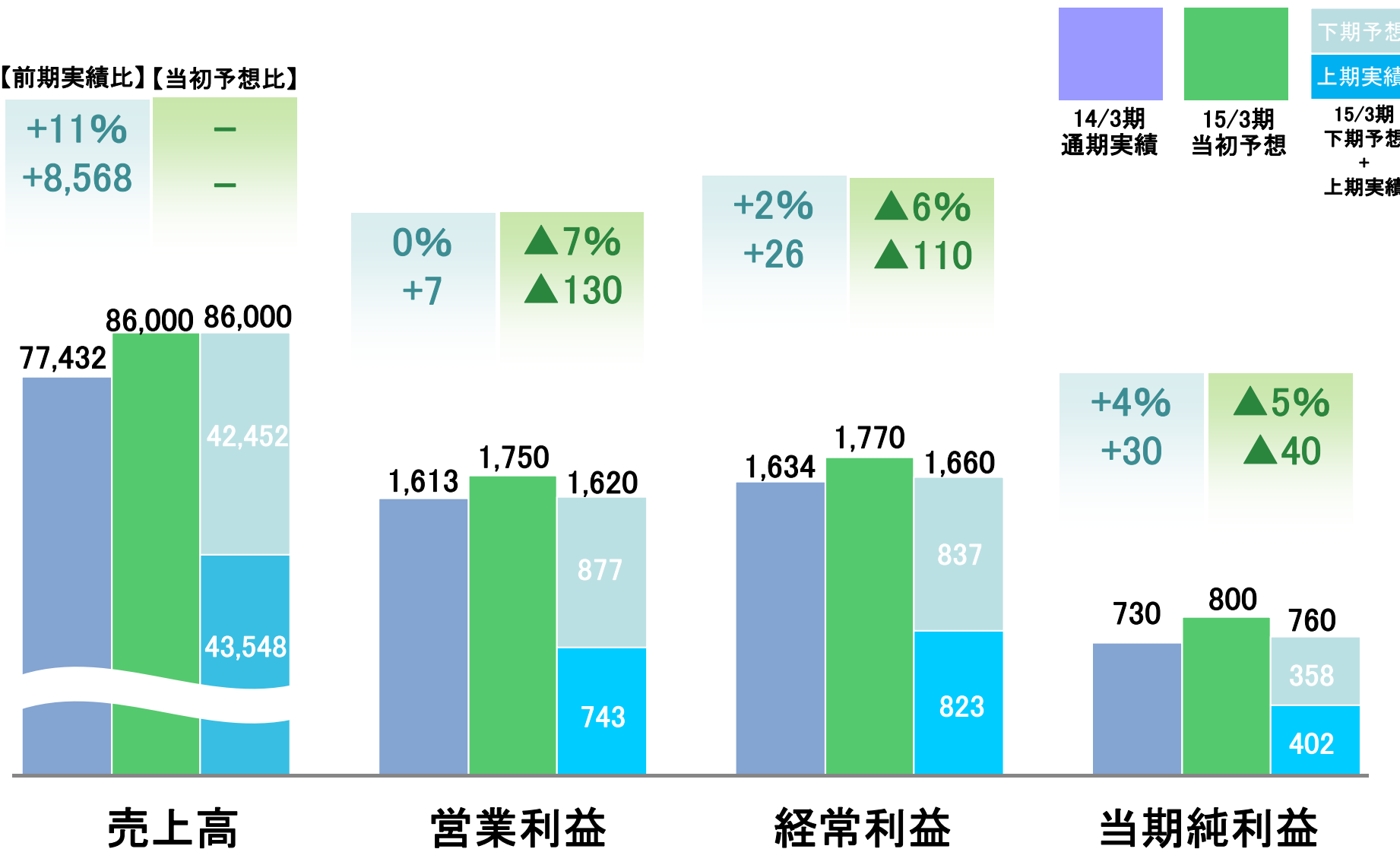
 2015年3月期予想の前提条件

指標	通期予想
為替レート	1US\$ JP¥ 104 1EUR JP¥ 137
トヨタ自動車生産台数	919万台

2015年3月期 当初予想比較

(単位:億円)

【前期実績比】【当初予想比】

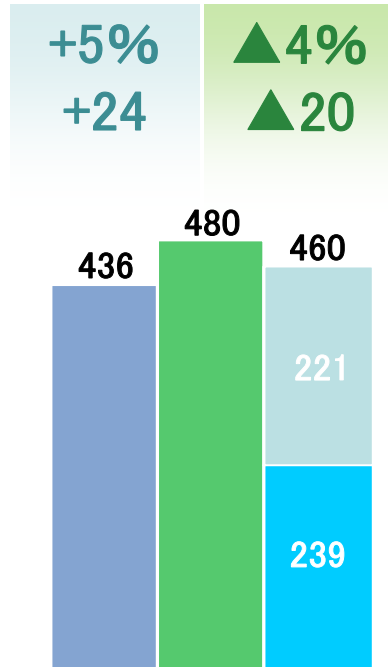


商品セグメント別営業利益(当初予想比較)

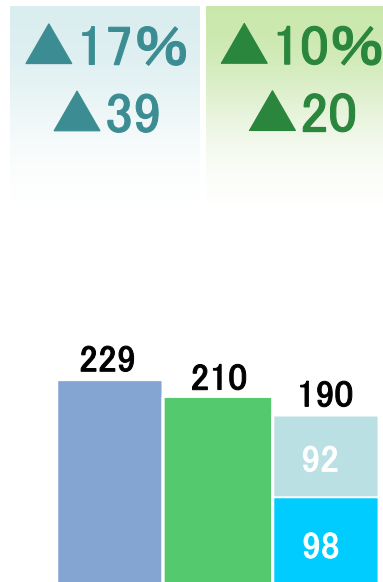
(単位: 億円)

金属本部

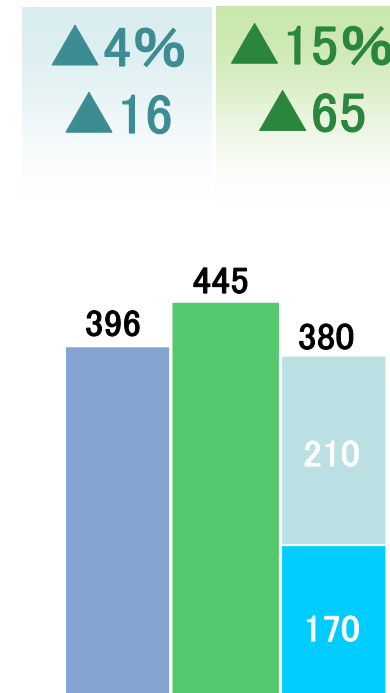
【前期実績比】【当初予想比】



グローバル部品・ロジスティクス本部



自動車本部



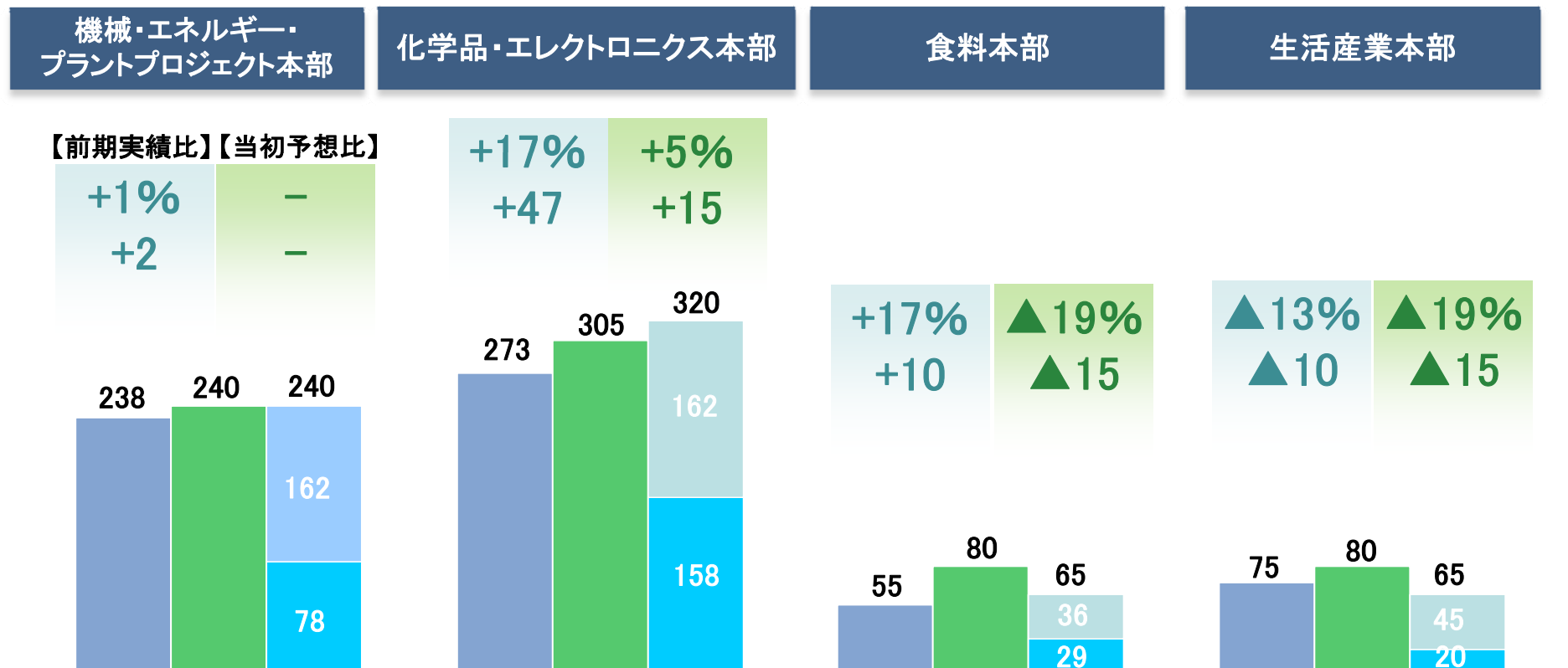
- タイの自動車生産台数減少

- タイの自動車生産台数減少

- アフリカ及びオセアニアの自動車販売会社の取扱い台数減少
- 単体の取扱い台数減少

商品セグメント別営業利益(当初予想比較)

(単位: 億円)



- 当初予想通り

- エレクトロニクス等の取扱い増加

- 穀物の取扱い減少
- 市況の下落

- 繊維関連の取扱い減少

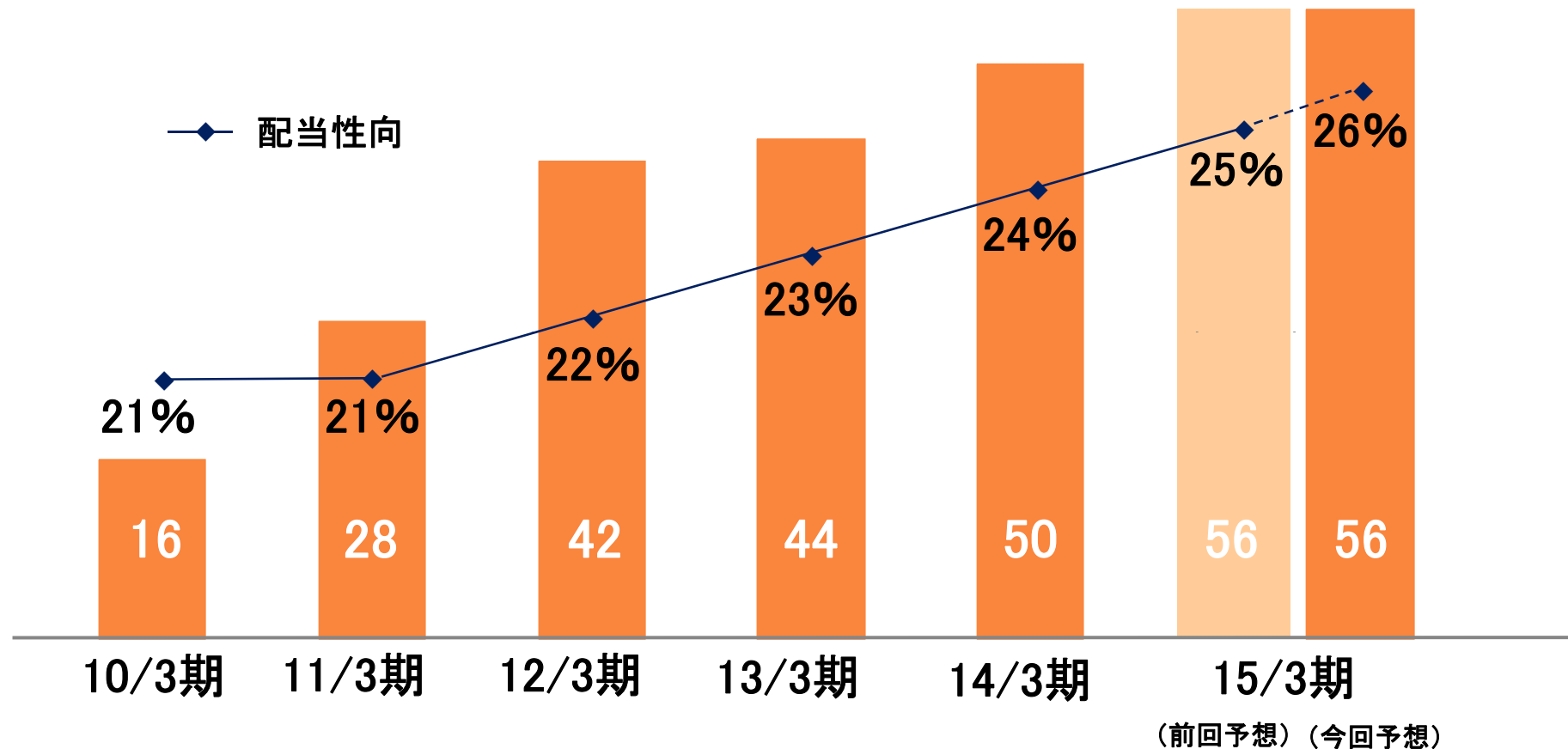


配当政策について

配当政策

連結配当性向20%～25%を目処

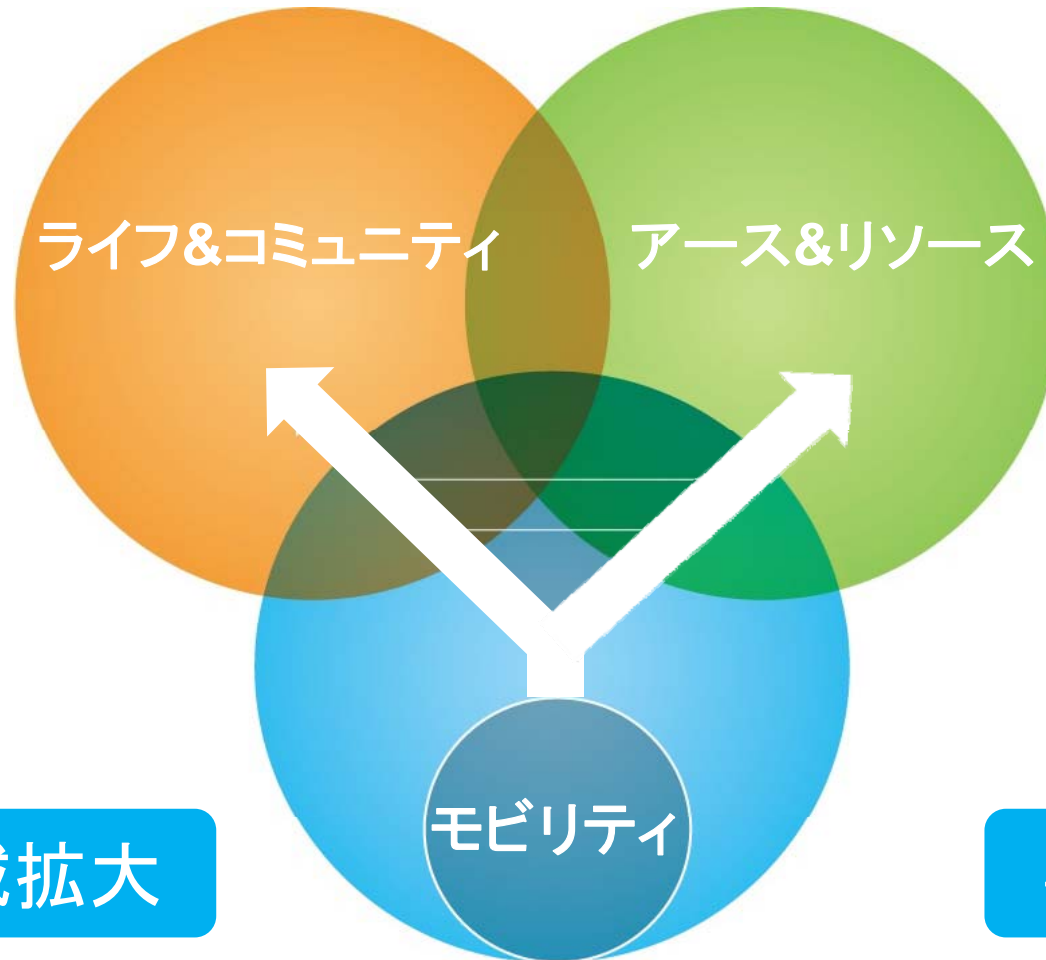
<一株当たり配当金(単位:円/株)>



3. 投融資案件の進捗状況について

長期経営計画達成に向けて

強みのある事業の更なる深化 — 積極的投資 —



自動車バリューチェーンの更なる拡大

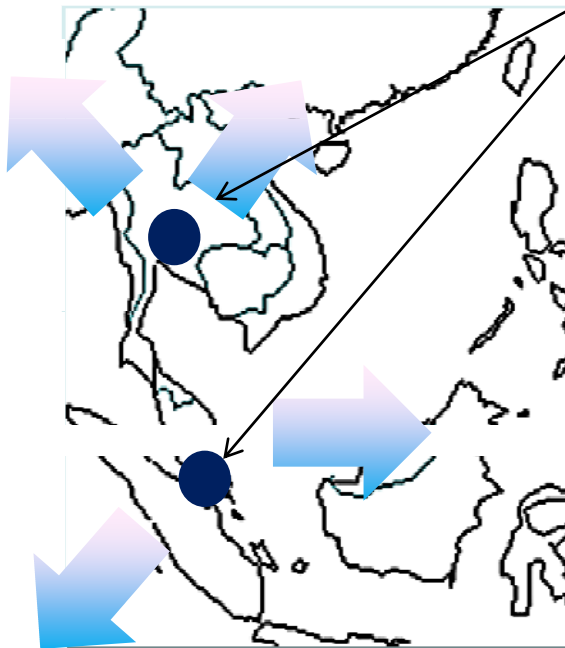


事業領域拡大への進捗状況

生産領域のみならずアフターマーケット領域も含めた

自動車サプライチェーンの拡大

- ・主要アセアン各国の将来市場規模は3,000～5,000億円



2014年5月出資実施

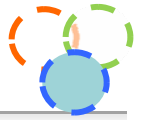
- ・自動車部品・産業資材卸売会社 ボルネオテクニカルマレーシア/ タイランドに資本参画

(マレーシア:販売拠点 19/タイ:販売拠点 11)販売先:28千店



- ・トヨタ車だけでなく全メーカー車へのアクセスが可能に
- ・デンソー・ユアサ他の日系正規ディーラーを獲得
- ・当社 PBブランド (シーワークス) の販路を拡大し現在の売上 約200億円 を 2年後 30%増を目標に

当社強みの生産～販売の自動車バリューチェーンを更に拡張



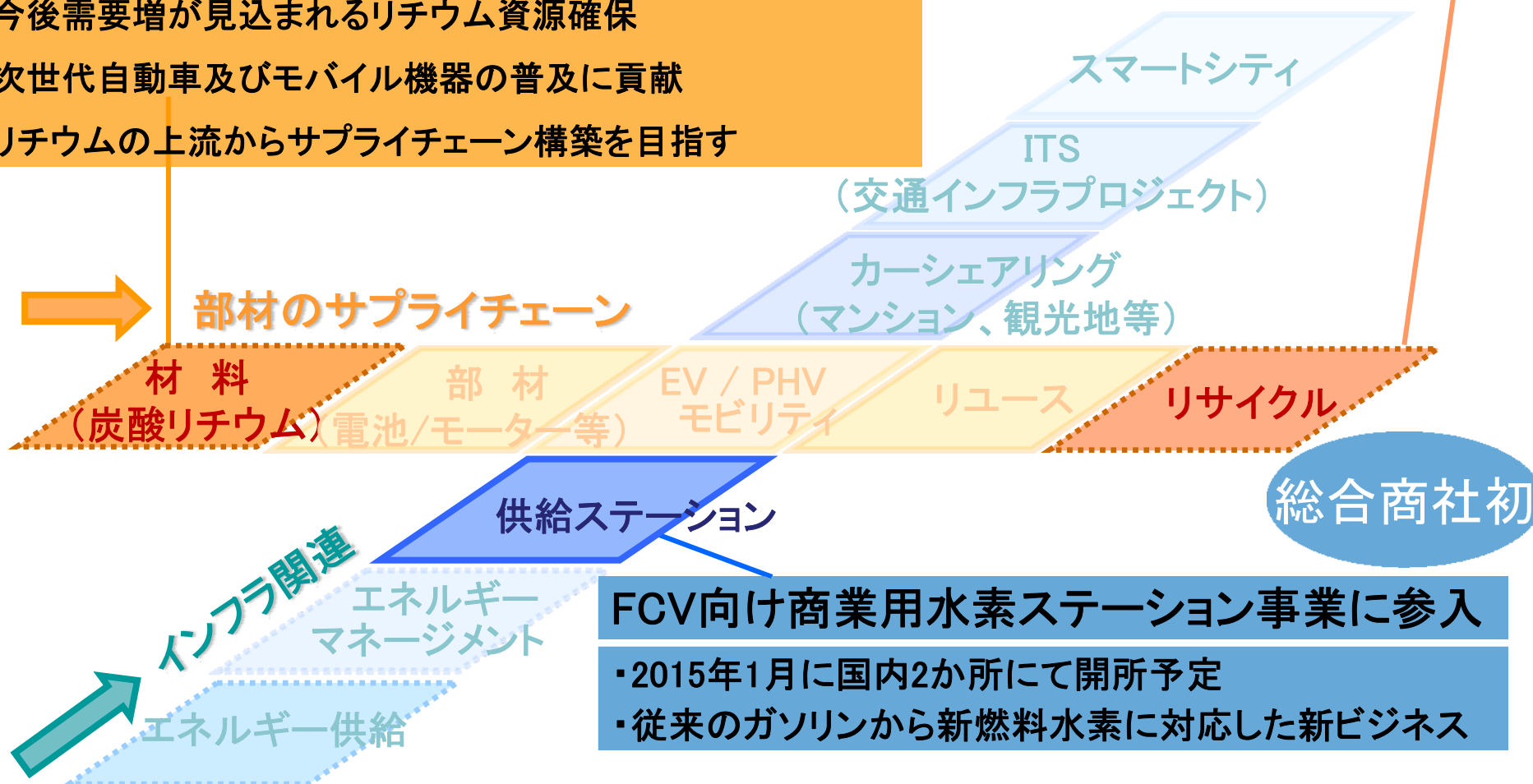
事業革新への対応状況(新規ビジネス創造)

リチウム資源開発プロジェクトに参入

- ・2014年12月より生産開始(予定)
- ・今後需要増が見込まれるリチウム資源確保
- ・次世代自動車及びモバイル機器の普及に貢献
- ・リチウムの上流からサプライチェーン構築を目指す

(次ページにて説明)

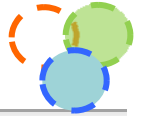
ショルツに資本参画



FCV向け商業用水素ステーション事業に参入

- ・2015年1月に国内2か所にて開所予定
- ・従来のガソリンから新燃料水素に対応した新ビジネス

次世代自動車に向け着実に「打ち手」を実施



リサイクル事業の展開状況

① ショルツ社との事業提携の進捗状況(出資実施)

- 既存取引銀行の継続的支援の合意取得
- 欧州委員会の許認可取得

2014年6月末 39.9%出資を実行

今期

ガバナンスの強化+リストラプランの完遂

欧州のリサイクル技術・仕組みを習得、アジア他国への展開

② 中国での自動車リサイクル事業の展開拡大

[現在]北京1ヶ所⇒今後3～5年に中国主要地域に解体工場を整備

総合リサイクルヤード事業の世界展開に向け着実な布石



《公開買付結果(2014年8月22日)》

公開買付前： 40.16%
公開買付後： 62.97%

※議決権割合

急速に拡大する電子部品市場にてグローバルプレーヤーを
目指すため100%子会社化が必要と判断。経営の迅速化を
実現しTTCグループ地盤強化・競合差別化・拡販を目指す

11月の臨時株主総会・種類株主総会に付議



CFAO S.A. アフリカでの事業展開について

■ Automotive, Equipment & Services

- 《中長期的狙い》
- ・西アフリカでのトヨタとの関係強化
 - ・フォルクスワーゲンブランドによる商権の獲得（ブランド再構築）
 - ・中古車、修理部品、販売金融の取扱いによる事業領域拡大
 - ・従来の販売国見直しと新重点国の策定・販売強化

■ Eurapharma

- 《中長期的狙い》
- ・M&Aも視野に入れた取扱国、販売先の拡大
 - ・日系企業を含めた新たな取引先の開拓

■ FMCG Industries & Distribution

- 《中長期的狙い》
- ・カルフルとの提携によるリテール部門の拡大
 - ・日系企業を含めた新たな取引先の開拓

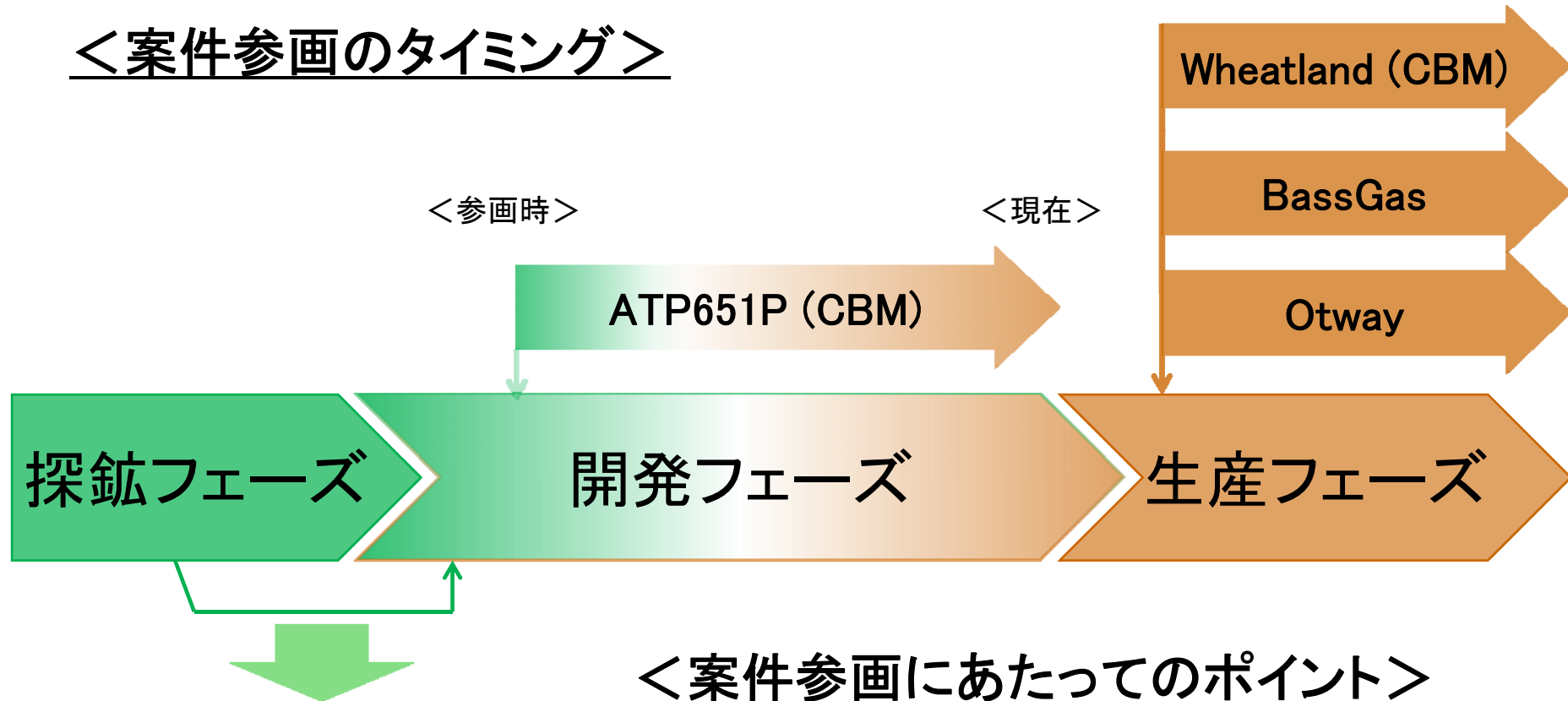
※エボラ出血熱については、ギニア、リベリア、シエラレオネの3ヶ国で、売上の0.7% (2013年度)であり、業績に与える影響は限定的

アフリカビジネスを長期的な視点から捉え地域毎に事業展開

4. 当社の資源案件について

当社のガス案件について

＜案件参画のタイミング＞



※ 探鉱フェーズ案件は
試掘に関する許可まで。
開発フェーズ移行する際
F/Sを再度精査し判断する。

＜案件参画にあたってのポイント＞

- ・ 鉱区の埋蔵／生産確実性
- ・ 事業化の確実性
- ・ リスクに見合った適正な利益の確保

探鉱案件は慎重に対応、開発案件・生産案件を中心に展開


【ご参考】資源権益の現状について - エネルギー -

種別	案件名	場所	当社出資率	状況	オペレーター	備考
ガス	Wheatland CBM(*)Project	カナダ (アルバータ州)	32.5%	生産中	Encana(67.5%)	・2001年より生産開始 ・2012年当社参画案件
	ATP651P CBM Project	豪州 (クィーンズランド州)	15%	開発中	BG Group(62.6%)	・ガス全量はパイプラインで BG GroupのLNGプロジェクト に販売予定 ・今年度中の生産計画中
	Bass Gas Project	豪州 (ビクトリア州)	11.25%	生産中	Origin(42.5%)	・2006年よりビクトリア州中心 に販売中 ・豪州南東部ガス需要の5% 担うガス田
	Otway Gas Project	豪州 (ビクトリア州)	5%	生産中	Origin(67.2%)	・2007年よりビクトリア州中心 に販売中 ・豪州南東部ガス需要の 10%担うガス田
石炭	Integra	豪州 (NSW州)	15%	休止中	Vale(61.2%)	・収益性を検証中
	Oakbridge	豪州 (NSW州)	5%	生産中	Glencore (78%)	・1994年より生産開始

CBM(炭層メタンガス): 石炭の生成過程で発生、石炭層に貯留されたメタンから成るガスで用途は在来天然ガスと同様

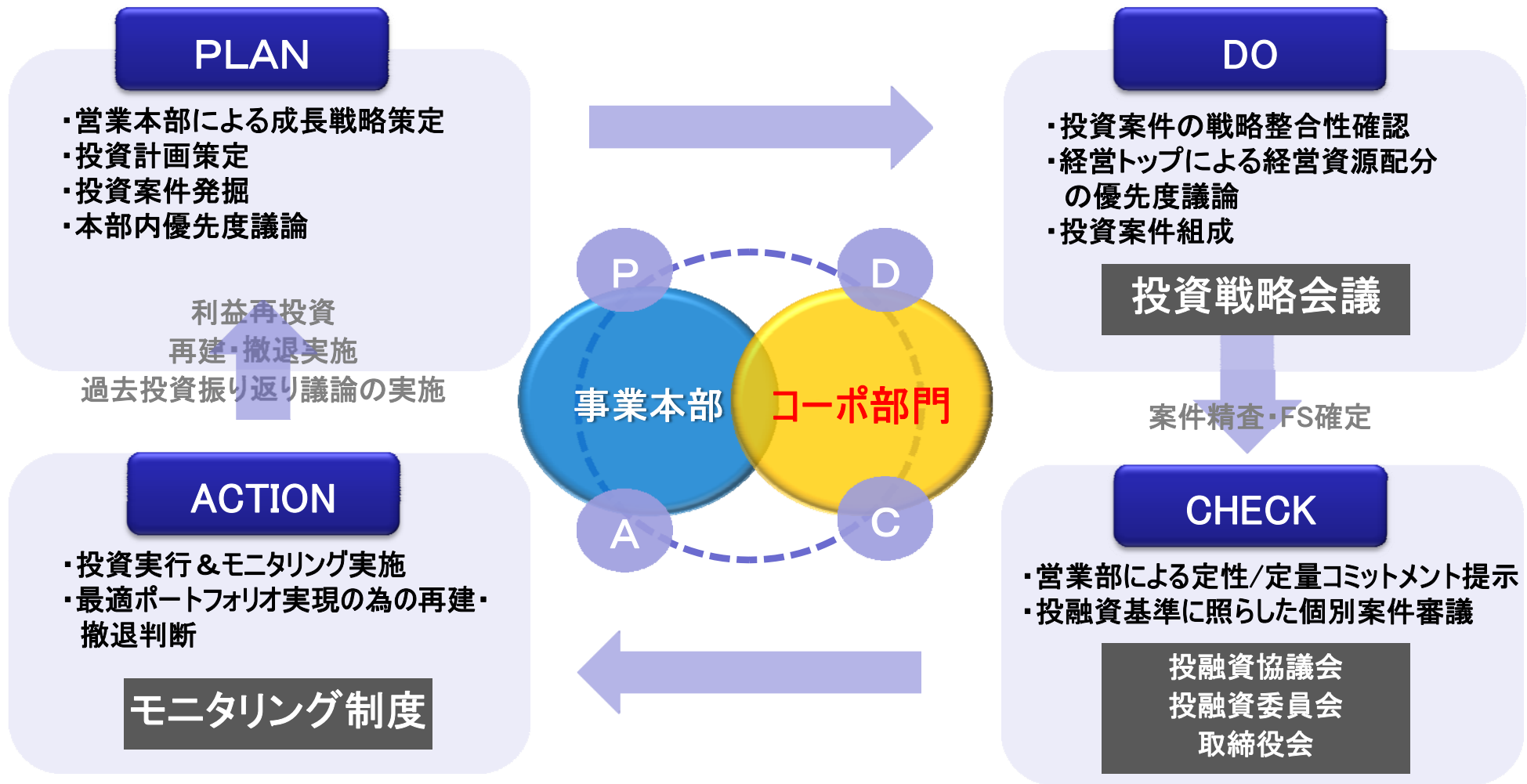
その他の資源権益の現状について

資源名	場所	当社 出資率	状況	パートナー	備考
ヨード	チリ (サンディエゴ)	25.5%	生産中	ACF Minera S.A. (74.5%)	<ul style="list-style-type: none"> ・2010年当社参画 ・2012年生産開始
リチウム	アルゼンチン (フイ州)	25%	開発中	Orocobre (66.5%)	<ul style="list-style-type: none"> ・2012年当社参画 ・2014年生産開始 ・年間1万6,400トンの生産を目指す
レアアース	インド (オリッサ州)	—	契約締結 準備中	Indian Rare Earths Limited	<ul style="list-style-type: none"> ・権益ではなく混合塩化希土の 引取り権 ・主に軽希土を生産予定 (セリウム、ランタン、ネオジム)

当社の強みを発揮できる分野にて注力中

5. 投融資管理体制について

当社の投資実行のプロセスについて



事業サイクル・新規投資への支援、牽制体制を構築

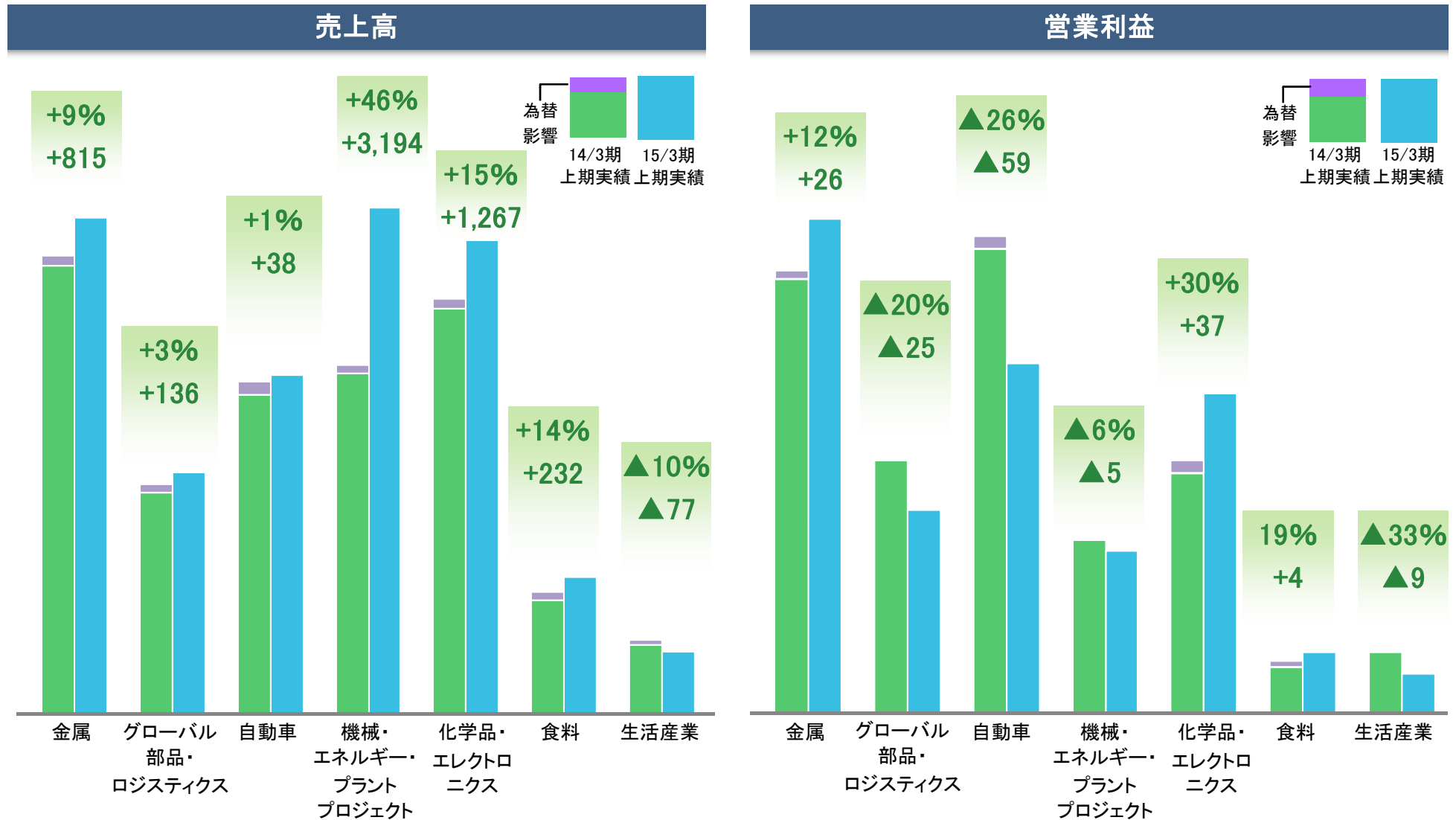
6. 補足資料



《補足資料1-①》

商品セグメント別売上高・営業利益(前期比較)

(単位: 億円)



※上記の増減率は為替換算の影響を除いて算出しております。

※2014年4月1日よりグローバル生産部品・ロジスティクス本部名称をグローバル部品・ロジスティクス本部に変更しております。

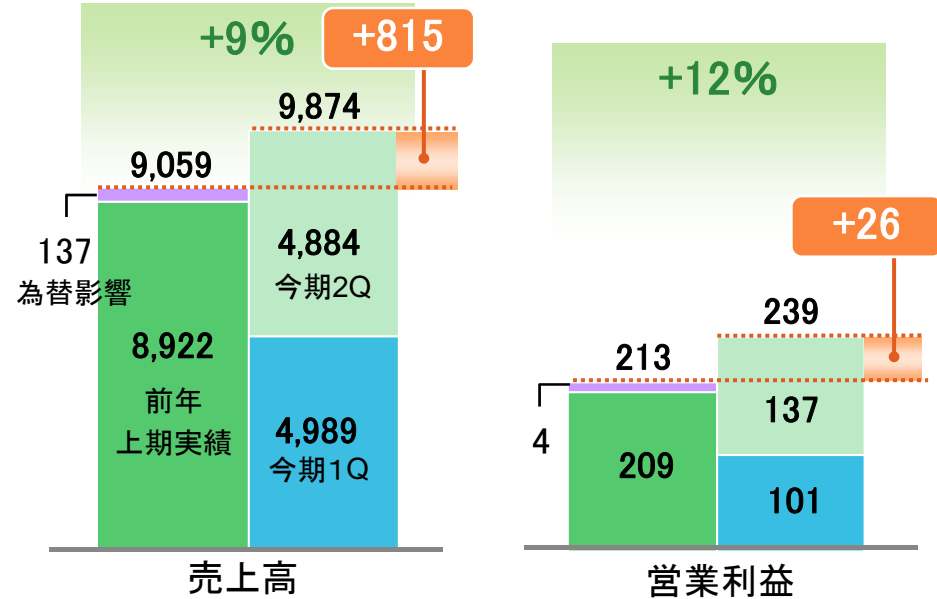


《補足資料1-②》

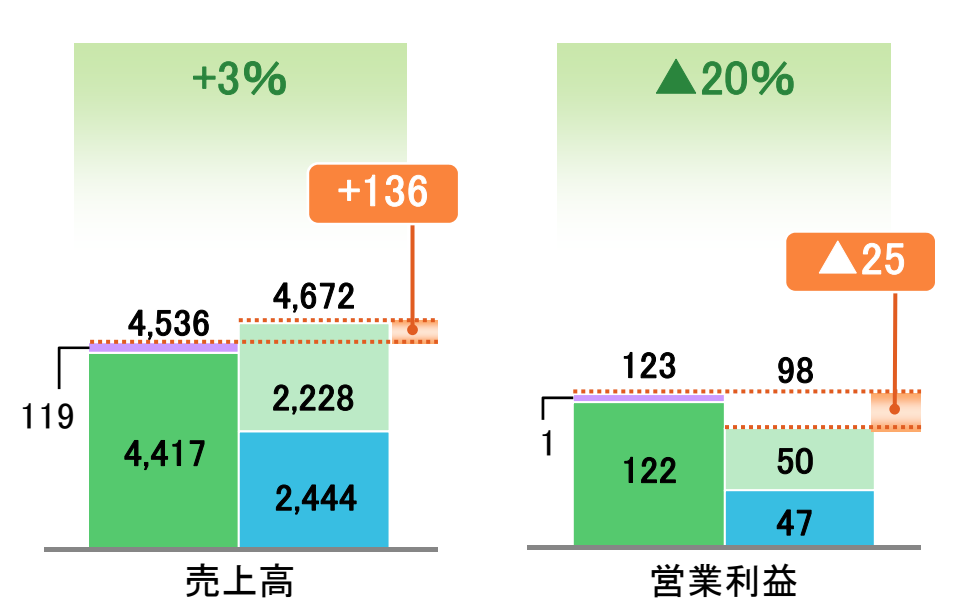
商品セグメント別売上高・営業利益(前期比較)

(単位:億円)

金属本部



グローバル部品・ロジスティクス本部



【売上高・営業利益】

- 決算期統一の影響及び北米の自動車生産台数増加等

【売上高】

- 決算期統一の影響(約+260)

【営業利益】

- 前期営業外為替差損との入繰りによる影響
- タイの自動車生産台数減少

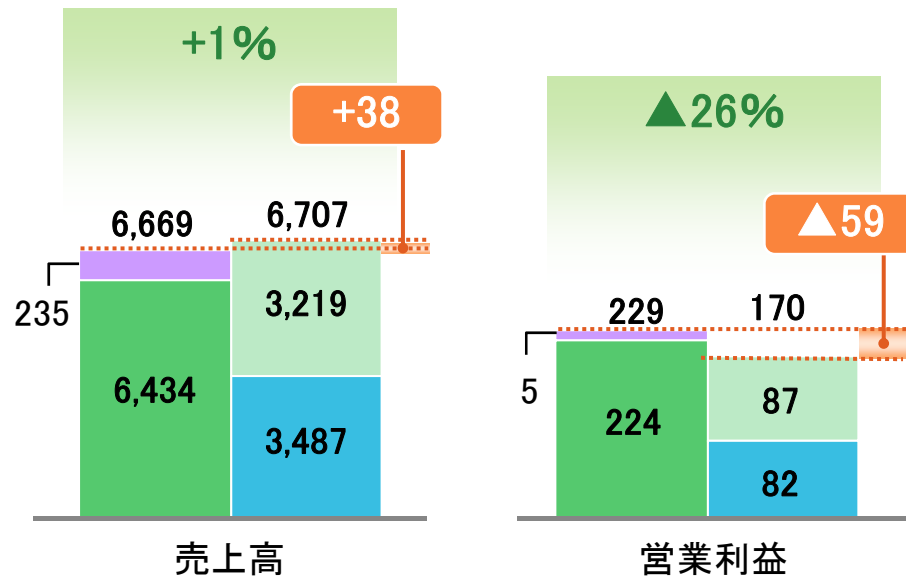


《補足資料1-③》

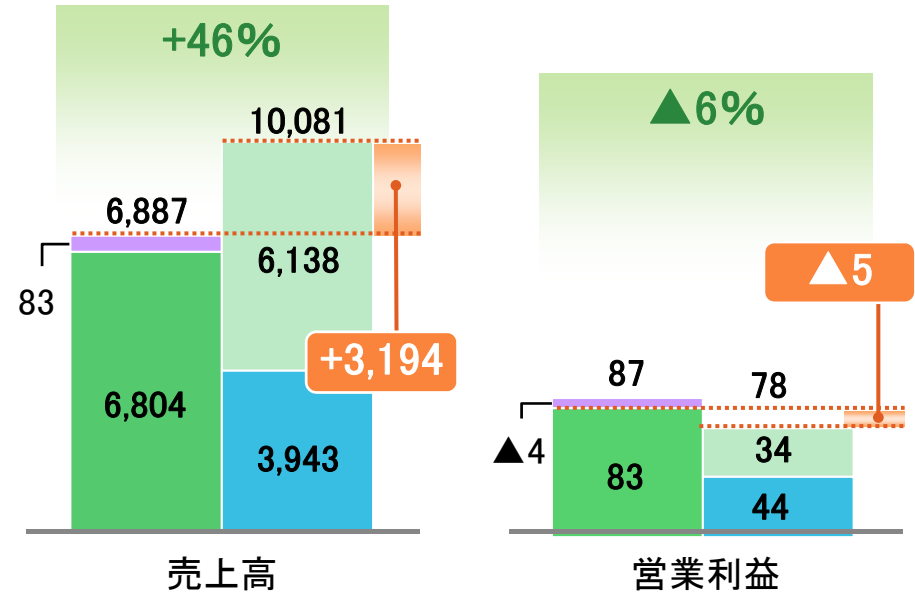
商品セグメント別売上高・営業利益(前期比較)

(単位:億円)

自動車本部



機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部



【売上高】

- 決算期統一の影響(約+310)

【営業利益】

- アフリカ及びオセアニアの自動車販売会社の取扱台数減少等

【売上高】

- 石油製品の取扱い増加(約+3,060)
- 機械関連の増加(約+90)

【営業利益】

- 自動車関連設備の利益減少等



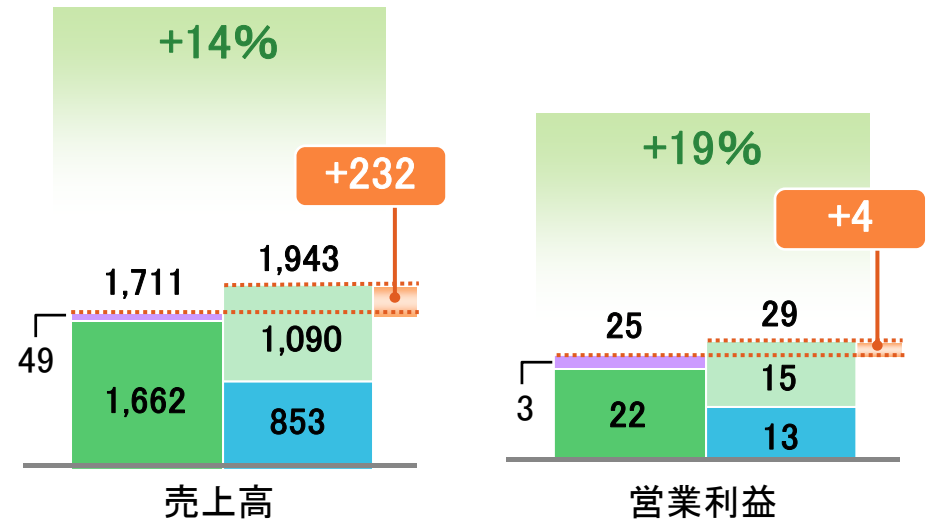
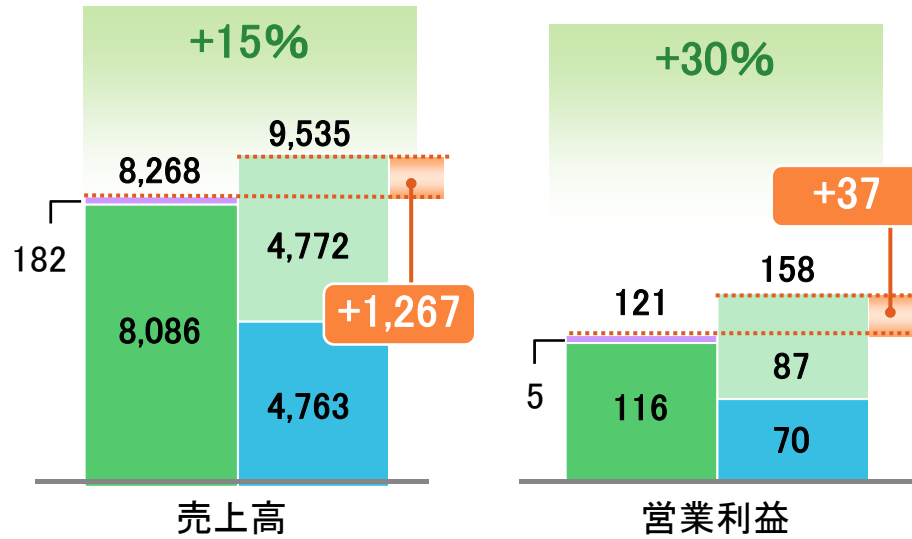
《補足資料1-④》

商品セグメント別売上高・営業利益(前期比較)

(単位:億円)

化学品・エレクトロニクス本部

食料本部



【売上高・営業利益】

- 決算期統一及び新規連結会社の影響により増加

【売上高】

- 海外での穀物取扱い増加等

【営業利益】

- アフリカの飲料事業の取扱い増加等

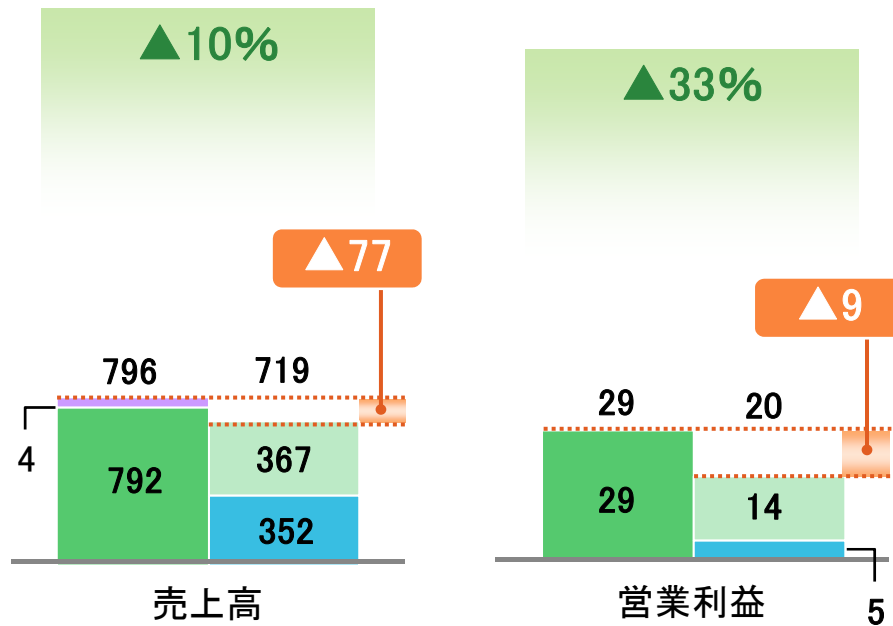


《補足資料1-⑤》

商品セグメント別売上高・営業利益(前期比較)

(単位:億円)

生活産業本部



【売上高・営業利益】

- 住宅資材及び繊維関連の取扱い減少等

豊田通商株式会社 財務部 IR室

E-mail ttc_ir@pp.toyota-tsusho.com

東京

TEL 03-4306-8201

FAX 03-4306-8818

- ◆ 当プレゼンテーション資料は、豊田通商株式会社およびそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」を含んでいます。係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。当社は、係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。
- ◆ 当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売出、販売、勧誘を目的とするものではありません。投資・その他のご判断にあたり、当資料の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、お願い申し上げます。